

## 日本(仮訳)

### ニホンウナギの漁獲量

項目	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21
シラスウナギの採捕量	トン	9.0	5.2	17.4	15.3	13.6	15.5	8.9	3.7	17.1	11.1(*1)
シラスウナギに対する漁獲努力量	許可数	6,669	6,781	6,617	4,698	4,398	4,790	5,874	5,898	5,762	5,738(*2)
項目	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
うなぎ成魚の漁獲量	トン	165	135	112	70	71	71	69	66	-	-

### シラスウナギの養殖池への池入れ量

種	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21(*3)
ニホンウナギ	トン	15.9	12.6	27.1	18.3	19.7	19.6	14.2	15.2	20.1	18.1
その他のうなぎ	トン	0.4	1.3	3.5	0.0	0.2	0.1	0.03	0.1	0.059	0.001
合計	トン	16.3	13.9	30.6	18.3	19.8	19.7	14.2	15.3	20.2	18.1

### 養殖生産量

種	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
ニホンウナギ	トン	17,377	14,204	17,627	20,119	18,907	20,979	15,111	17,071	16,887	-

### 養殖に関するその他のデータ

項目	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
養殖産業の規模	経営体数	-	384	-	515	514	491	496	513	502	487

#### 注釈:

- シラスウナギに関するデータの対象期間(シラスウナギの採捕量、漁獲努力量及び養殖池への池入れ量)は、シラスウナギの採捕シーズン(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)とし、その他のデータの対象期間は西暦とする。
  - データが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
  - シラスウナギの採捕量、うなぎ成魚の漁獲量及び養殖池へのシラスウナギの池入れ量の単位は、可能な限り重量とする(キログラム又はトン)。
  - シラスウナギに対する漁獲努力量及び養殖産業の規模の単位は、情報の有効性を考慮し各組織で選択する。漁獲努力量の単位の例としては、許可数、漁業者数又は漁業船隻数がある。養殖産業の規模の単位の例としては、経営対数又は養殖池の面積がある。
  - うなぎ成魚の漁獲量統計がない場合、代わりにうなぎ成魚の資源の動向を示す調査活動を検討する。
  - シラスウナギの池入れ量のデータは、可能な限り種別(ニホンウナギ、アメリカウナギ、ビカーラ等)に入力する。種に限定したデータが提供できない場合、「合計」欄にデータを入力する。
- \*1 2020-2021年漁期のシラスウナギの採捕量のデータは11月1日から4月30日までの値。  
 \*2 2020-2021年漁期の許可数のデータは概算値。  
 \*3 2020-2021年漁期のシラスウナギの池入れ量のデータは、11月1日から4月30日までの値。

## うなぎ及びうなぎ製品の輸出

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021(*1)
ニホンウナギ	生きたうなぎ	トン	10.4	2.2	38.8	20.7	25.8	45.6	7.4	17.8	44.8	6.2
	蒲焼き	トン	21.2	30.0	30.9	38.9	45.2	66.6	59.1	62.6	90.4	19.2
合計		トン	31.6	32.1	69.6	59.6	71.0	112.2	66.6	80.4	135.2	25.4

## シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸出

種	タイプ・サイズ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21
ニホンウナギ	うなぎ稚魚	トン	5.7	1.6	6.7	1.3	0.4	0.9	2.6	10.1	23.6	-
	うなぎ稚魚	尾数	133,668	0	3,573,540	526,977	1,634,988	2,447,269	-	-	-	-

## うなぎ及びうなぎ製品の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021(*2)
	生きたうなぎ	トン	4,677.6	4,789.2	4,781.1	7,066.7	7,276.1	6,815.7	8,812.7	6,733.2	5,441.1	1,987.2
	蒲焼き	トン	14,983.3	13,468.5	15,432.7	24,089.4	24,193.2	25,477.8	24,423.6	24,676.6	28,901.7	11,225.9
合計		トン	19,660.9	18,257.7	20,213.7	31,156.1	31,469.3	32,293.5	33,236.3	31,409.8	34,342.8	13,213.1

## シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21(*3)
	シラスウナギ	トン	9.2	10.7	12.5	3.6	7.6	4.8	5.3	12.6	3.9	8.5

### 注釈:

- シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸出データの対象期間は12月1日から翌11月30日とし、シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸入データの対象期間はシラスウナギの採捕シーズンとする。また、その他のデータの対象期間は西暦とする。
- データが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- 単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。
- うなぎ及びうなぎ製品の輸出入のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸出のタイプ・大きさの例としては、シラスウナギ、クロコ又はうなぎ稚魚がある。大きさの分類(例:15cm以下、501-5000尾/kg 等)も入力可。
- データは、可能な限り種別(ニホンウナギ、アメリカウナギ、ビカーラ等)を入力する。種に限定したデータが提供できない場合、「合計」欄にデータを入力する。

\*1 2021年のうなぎ及びうなぎ製品の輸出データは1月1日から4月30日までの値。

\*2 2021年のうなぎ及びうなぎ稚魚の輸入データは1月1日から4月30日までの値。

\*3 2020-2021年漁期のシラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸入データは11月1日から4月30日までの値。

## データの出典・収集又は算出方法

項目	データの出典・収集又は算出方法
シラスウナギの採捕量	上述のウナギ養殖業者の全国団体が取りまとめたシラスウナギの池入れ量から、シラスウナギの輸入量(各漁期の値を貿易統計から算出)を引いて漁期(前年の12月から4月)毎に算出したデータ。
シラスウナギに対する漁獲努力量	シラスウナギに対する漁獲努力量の指標は、許可発給の権限を有する各都府県から得られた許可数の合計。
うなぎ成魚の漁獲量	農林水産省が編さん・刊行した「漁業・養殖業生産統計」から引用したデータ。この統計のデータには、主要河川及び湖沼の漁協と全国の養殖業者に対する、漁獲・養殖生産についての質問表に由来の値が含まれる。
シラスウナギの養殖池への池入れ量	ニホンウナギ( <i>Anguilla japonica</i> )のデータは、ウナギ養殖業者の全国団体がメンバーからの池入れ報告に基づき取りまとめた値を引用。ニホンウナギを除くうなぎ類のデータは、ウナギ養殖業者からの報告に基づき記載。データは採捕シーズン毎に収集(11月から翌10月まで)
養殖産業の規模	養殖産業の規模の指標は、ウナギ養殖業の経営体数。2013年のデータについては、5年毎に農林水産省が公表している「漁業センサス」から引用。2015年以降のデータについては、2015年に施行された内水面漁業の振興に関する法律に基づき農林水産大臣の許可を受けたウナギ養殖業者の数。
うなぎ及びうなぎ製品の輸出	財務省が編さん・刊行した「貿易統計」から引用したデータ。統計コードは03.01.92.000(活魚-うなぎ(うなぎ類))と、1604.17.000(調整又は保存に適した処理をしたもの。キャビア及び魚卵から調整したキャビア代用品)。蒲焼きの量は、調整品の量を0.6で割り、全魚体重として算出。
うなぎ稚魚の輸出	輸出業者から提出された、うなぎ稚魚の尾数又は重量の輸出実績報告書から引用したデータ。
うなぎ及びうなぎ製品の輸入	財務省が編さん・刊行した「貿易統計」から引用したデータ。統計コードは03.01.92.200(活魚-うなぎ(うなぎ類)-その他)と、1604.17.000(調整又は保存に適した処理をしたもの。キャビア及び魚卵から調整したキャビア代用品)。蒲焼きの量は、調整品の量を0.6で割り、全魚体重として算出。
うなぎ稚魚の輸入	財務省が編さん・刊行した「貿易統計」から引用したデータ。統計コードは03.01.92.100(活魚-うなぎ(うなぎ類)-養殖用稚魚)。

## 韓国(仮訳)

### ニホンウナギの漁獲量

項目	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21
シラスウナギの採捕量	トン	1.5	1.0	5.5	4.7	1.8	2.7	1.0	0.6	4.5	2.5
シラスウナギに対する漁獲努力量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
項目	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
うなぎ成魚の漁獲量	トン	106	69	85	80	68	48	59	57	64	1

### シラスウナギの養殖池への池入れ量

種	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21
ニホンウナギ		3.6	3.0	13.9	7.4	9.3	10.6	5.3	1.3	10.4	7.3
その他のうなぎ		5.9	13.2	2.9	5.1	3.7	0.6	3.7	0.2	0.7	0.3
合計	トン	9.5	16.2	16.8	12.5	13.0	11.2	9.0	1.5	11.1	7.6

### 養殖生産量

種	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
ニホンウナギ		5,400	4,500	12,510	9,990	12,622	14,269	7,105	10,660	13,225	4,884
その他のウナギ		1,770	3,960	870	3,825	2,850	117	704	225	570	65
合計	トン	7,170	8,460	13,380	13,815	15,472	14,386	7,809	10,885	13,795	4949

### 養殖に関するその他のデータ

項目	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
養殖産業の規模	経営体数	524	532	536	564	542	555	558	558	572	603

#### 注釈:

- シラスウナギに関するデータの対象期間(シラスウナギの採捕量、漁獲努力量及び養殖池への池入れ量)は、シラスウナギの採捕シーズン(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)とし、その他のデータの対象期間は西暦とする。
- データが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- シラスウナギの採捕量、うなぎ成魚の漁獲量及び養殖池へのシラスウナギの池入れ量の単位は、可能な限り重量とする(キログラム又はトン)。
- シラスウナギに対する漁獲努力量及び養殖産業の規模の単位は、情報の有効性を考慮し各組織で選択する。漁獲努力量の単位の例としては、許可数、漁業者数又は漁業船隻数がある。養殖産業の規模の単位の例としては、経営対数又は養殖池の面積がある。
- うなぎ成魚の漁獲量統計がない場合、代わりに資源の動向を示す調査活動を検討する。
- シラスウナギの池入れデータは、可能な限り種別(ニホンウナギ、アメリカウナギ、ビカーラ等)を入力する。種に限定したデータが提供できない場合、「合計」欄にデータを入力する。

## うなぎ及びうなぎ製品の輸出

種	Type/Size	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
うなぎ類	合計	トン	91.3	9.6	0.4	3.0	5.4	44.3	30.2	0.5	2.1	0.9
	生きたうなぎ		79.9	2.3	0.1	0.4	0.0	19.4	0.2	0.0	0.0	0.0
	冷凍		11.1	0.0	0.0	0.1	2.1	23.8	25.2	0.2	0.5	0.5
	冷蔵		0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
	その他		0.1	7.3	0.3	2.4	3.3	1.1	4.2	0.3	1.6	0.4

## シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸出

種	タイプ・大きさ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21
うなぎ類	生きたうなぎ/シラスウナギ	トン	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## うなぎ及びうなぎ製品の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
うなぎ類	合計	トン	234.0	946.9	1,466.8	1,009.2	988.4	1,366.6	1,841.8	138.0	1,725.6	452.1
	生きたうなぎ		137.7	837.0	1,358.8	799.2	615.9	740.6	1,011.9	14.9	721.1	115.8
	冷凍		26.9	43.2	38.3	26.1	63.7	42.1	71.8	0.0	55.5	0.0
	冷蔵		0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
	蒲焼き		69.2	66.7	69.6	183.9	308.8	583.9	757.8	123.1	949.0	336.4

## シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21
うなぎ類	生きたうなぎ/シラスウナギ	トン	9.0	15.2	10.3	7.8	11.1	8.5	8.0	0.9	6.6	12.5

### 注釈:

- シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸出入データの対象期間はシラスウナギの採捕シーズンとし、その他のデータの対象期間は西暦とする。
- データが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- 単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。
- うなぎ及びうなぎ製品の輸出入のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸出のタイプ・大きさの例としては、シラスウナギ、クロコ又はうなぎ稚魚がある。大きさの分類(例:15cm以下、501-5000尾/kg 等)も入力可。
- データは、可能な限り種別(ニホンウナギ、アメリカウナギ、ビカーラ等)を入力する。種に限定したデータが提供できない場合、「合計」欄にデータを入力する。

## データの出典・収集又は算出方法

項目	データの出典・収集又は算出方法
シラスウナギの採捕量	養鰻水協及び韓国海事機関漁業モニタリングセンターのデータ。
シラスウナギに対する漁獲努力量	-
うなぎ成魚の漁獲量	海洋漁業省が編さん・刊行した「漁業情報サービス」から引用したデータ。
シラスウナギの養殖池への池入れ量	養鰻水協及び韓国海事機関漁業モニタリングセンターのデータ。
養殖産業の規模	養鰻水協のデータ。
うなぎ及びうなぎ製品の輸出	韓国税関が編さん・刊行した「貿易統計データ」から引用したデータ及び国家漁業製品品質管理サービスの輸入データ。
うなぎ稚魚の輸出	韓国税関が編さん・刊行した「貿易統計データ」から引用したデータ。
うなぎ及びうなぎ製品の輸入	韓国税関が編さん・刊行した「貿易統計データ」から引用したデータ。
うなぎ稚魚の輸入	韓国税関が編さん・刊行した「貿易統計データ」から引用したデータ及び国家漁業製品品質管理サービスの輸入データ。

## チャイニーズ・タイペイ(仮訳)

### ニホンウナギの漁獲量

項目	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21(*1)
シラスウナギの採捕量	トン	1.91	0.96	8.25	1.1	3.06	4.5	1.1	2.75	5.2	5.7
シラスウナギに対する漁獲努力量	漁船隻数	-	213	232	250	245	251	272	311	363	374
うなぎ成魚の漁獲量		-	-	-	-	-					

### シラスウナギの養殖池への池入れ量

種	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21(*2)
ニホンウナギ	トン	2.2	1.5	12.5	2.8	3.6	7.3	1.03	0.8	8.14	3.28
その他のうなぎ	トン	5.5	10.0	1.5	0.2	0.08	0.1	0.05	0.14	0.12	0.09
合計	トン	7.7	11.5	14.0	3.0	3.7	7.4	1.08	0.98	8.3	3.4

### 養殖生産量

種	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020(*3)	2021
ニホンウナギ	トン	2,244	1,500	1,675	5,187	4,658	3,665	4,134	3,526	1,704	
その他のウナギ	トン	-	404	228	394	154	81	142	142	167	
合計	トン	2,244	1,904	1,903	5,581	4,812	3,746	4,276	3,668	1,871	

### 養殖に関するその他のデータ

項目	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020(*3)	2021
養殖産業の規模	養殖場の面積(ヘクタール)	449	305	456	391	392	409	341	241	319	

#### 注釈:

- シラスウナギに関するデータの対象期間(シラスウナギの採捕量、漁獲努力量及び養殖池への池入れ量)は、シラスウナギの採捕シーズン(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)とし、その他のデータの対象期間は西暦とする。
- データが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- シラスウナギの採捕量、うなぎ成魚の漁獲量及び養殖池へのシラスウナギの池入れ量の単位は、可能な限り重量とする(キログラム又はトン)。
- シラスウナギに対する漁獲努力量及び養殖産業の規模の単位は、情報の有効性を考慮し各組織で選択する。漁獲努力量の単位の例としては、許可数、漁業者数又は漁業船隻数がある。養殖産業の規模の単位の例としては、経営対数又は養殖池の面積がある。
- うなぎ成魚の漁獲量統計がない場合、代わりに資源の動向を示す調査活動を検討する。
- シラスウナギの池入れデータは、可能な限り種別(ニホンウナギ、アメリカウナギ、ピカーラ等)を入力する。種に限定したデータが提供できない場合、「合計」欄にデータを入力する。

\*1 2020-2021漁期のシラスウナギの漁獲量は11月1日から2月28日までの速報値。

\*2 2020-2021漁期のシラスウナギの池入れ量は11月1日から4月30日までの速報値。

\*3 2020年の養殖生産量は速報値。

## うなぎ及びうなぎ製品の輸出

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021(*1)
ニホンウナギ	生きたうなぎ	トン	1,363	867	892	2,845	2,544	2,030	2,396	1,862	1,009	271
	うなぎ調整品	トン	303	155	137	487	207	135	139	74	42	55
	蒲焼き	トン	68	21	17	75	23	0	23	21	15	7
マルモラータ	生きたうなぎ	トン	95	16	0	14	0	18	48	13	0	
オーストラリアウナギ	生きたうなぎ	トン	0	0	0	0	0	0				
その他のうなぎ	生きたうなぎ	トン	0	2	20	0	0	0				

## シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸出

種	タイプ・大きさ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21(*2)
ニホンウナギ	シラスウナギ	トン	0.9	0.1	0.2	0	0.00	0	0.26	0.00	0.00	0.23
	うなぎ稚魚	トン	0.4	0.02	0.01	0	0.10	0	2.89	0.07	1.06	1.74
	若齢うなぎ	トン	0.04	2.08	0	0	0.00	0	1.67	4.96	0.28	8.29

## うなぎ及びうなぎ調整品の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021(*3)
ニホンウナギ	生きたうなぎ	トン	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	
	うなぎ調整品	トン	0	0	0.003	0.018	0.147	6.49	0	0	189	27
	蒲焼き	トン	0	0	0	0	0	0	0	0	0.003	
マルモラータ	生きたうなぎ	トン	10.7	7.7	4.2	0.8	0.628	3.28	0	2.1	0	
オーストラリアウナギ	生きたうなぎ	トン	0	0	0	0.4	0	0	0	0	0	
その他のうなぎ	生きたうなぎ	トン	0	0	24.1	3.3	0	0	2.161	2	0	

## シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21(*4)
ニホンウナギ	シラスウナギ	トン	1.3	0.7	2.0	0.6	0.40	0.7	0.88	0.13	2.18	0.35
	うなぎ稚魚	トン	0.5	0.7	4.3	0.1	0.80	2	0.09	0.06	7.85	-
	若齢うなぎ	トン	6.1	2.9	34.1	21.2	20.10	33	5.81	14.95	27.04	5.77

### 注釈:

- シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸出入データの対象期間はシラスウナギの採捕シーズンとし、その他のデータの対象期間は西暦とする。
- データが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- 単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。
- うなぎ及びうなぎ製品の輸出入のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- シラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸出のタイプ・大きさの例としては、シラスウナギ、クロコ又はうなぎ稚魚がある。大きさの分類(例:15cm以下、501-5000尾/kg 等)も入力可。
- データは、可能な限り種別(ニホンウナギ、アメリカウナギ、ビカーラ等)を入力する。種に限定したデータが提供できない場合、「合計」欄にデータを入力する。

\*1 2021年のうなぎ成魚及びうなぎ製品の輸出データは1月1日から4月30日までの値。

\*2 2020-2021漁期のシラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸出データは1月1日から4月30日までの値。

\*3 2021年のうなぎ成魚及びうなぎ調整品の輸入データは1月1日から4月30日までの値。

\*4 2020-2021漁期のシラスウナギ及びうなぎ稚魚の輸入データは1月1日から4月30日までの値。



## データの出典・収集又は算出方法

項目	データの出典・収集又は算出方法
シラスウナギの採捕量	シラスウナギの漁獲量のデータは、漁業統計年鑑に由来する。漁会を通して地方行政区がデータを収集し、漁期毎に漁業署へ報告する。不合理な点があった場合、漁業署は地方行政区へ再点検・再確認を依頼する。その他、種(うなぎ類)のうち大多数はニホンウナギであるが、少数のその他のうなぎ類が含まれる可能性がある。 シラスウナギの漁獲量データの原単位は尾数であり、5,000尾/Kgにて重量換算している。その他、漁期は2011年に導入された。原データの条件を遡って調べることは困難なため、合理的なデータのみを記載する。2013年のデータは推定値であり、確定後に修正する。
シラスウナギに対する漁獲努力量	シラスウナギを含む稚魚を捕ることを許可された漁船の隻数。
うなぎ成魚の漁獲量	-
シラスウナギの養殖池への池入れ量	ニホンウナギ及びその他のうなぎのデータは、台湾区鰻魚発展基金会在、会員からの池入れ量の報告に基づき取りまとめたもの。
養殖産業の規模	養殖産業の規模は養殖面積(ヘクタール)で示す。養殖面積のデータは、漁業統計年鑑に由来する。市町村事務所による口頭調査を通して地方行政区がデータを収集し、漁期毎に漁業署へ報告する。不合理な点があった場合、漁業署は地方行政区へ再点検・再確認を依頼する。2013年のデータは推定値であり、確定後に修正する。
うなぎ及びうなぎ製品の輸出	輸出データは財政部関務署の統計に由来する。CCC(輸出入品分類)コードは、03019210101(生きたニホンウナギ)、16041700125(うなぎ調整品)、16041910130(うなぎ蒲焼き)、03019210904(うなぎ類)、03019929307(オーストラリアウナギ)及び03019210209(マルモラータ)である。なお、2013年以降、CCCコードのうなぎ調整品は16041700116へ、うなぎ蒲焼きは16041700125へ変更された。
うなぎ稚魚の輸出	輸出データは財政部関務署の統計に由来する。CCC(輸出入品分類)コードは、3019220109(シラスウナギ(1kgに5,000尾以上))、3019220207(うなぎ稚魚(1kgに501-5000尾))及び3019220305(若齢うなぎ(1kgに11-500尾))。
うなぎ及びうなぎ製品の輸入	輸出データは財政部関務署の統計に由来する。CCC(輸出入品分類)コードは、03019210101(生きたニホンウナギ)、16041700125(うなぎ調整品)、16041910130(うなぎ蒲焼き)、03019210904(うなぎ類)、03019929307(オーストラリアウナギ)及び03019210209(マルモラータ)である。なお、2013年以降、CCCコードのうなぎ調整品は16041700116へ、うなぎ蒲焼きは16041700125へ変更された。
うなぎ稚魚の輸入	輸入データは財政部関務署の統計に由来する。CCC(輸出入品分類)コードは、3019220109(シラスウナギ(1kgに5,000尾以上))、3019220207(うなぎ稚魚(1kgに501-5000尾))及び3019220305(若齢うなぎ(1kgに11-500尾))。